

趣意書

■バプテスト福祉デー「共に生きる」～子どもたちをまんやかに～

社会福祉法人相愛会理事長 高木恵理

はじめに

「バプテスト社会福祉事業団体連絡協議会」は、日本バプテスト連盟に所属、キリストの福音を土台として、幼児保育・高齢者福祉・障害者福祉に携わる以下の6法人から構成され、相互協力・啓蒙活動（職員研修会）・連盟や学会・社会福祉実践会議などへの提言を行っています。1996年の第47回日本バプテスト連盟定期総会で決議され、「バプテスト福祉デー」が始まりました。

【構成法人(施設)】

- 「バプテストめぐみ会」(特別養護老人ホーム・バプテスト・ホーム、北白川いずみ保育園など)
- 「しんもり福祉会」(平和の子保育園)
- 「バプテスト心身障害児(者)を守る会」(重症心身障害児施設・久山療育園重症児者医療療育センター)
- 「キリスト者奉仕会」(大牟田恵愛園など)
- 「福岡白百合会」
- 「相愛会」(相愛保育園、相愛ひめぎ保育園、放課後児童クラブ、児童館など)

■今回は6法人の中から、特に相愛会の歴史と取組みをご紹介します。同封の福祉デー・ポスターとあわせて教会にてご掲示いただき、皆さまのお祈りに覚えていただきますよう、よろしく願いいたします。

相愛会の歴史と設立理念

相愛会は、無認可の日本バプテスト連盟都城キリスト教会付属相愛保育園として1964年9月に運営を始めたのがその歴史の始まりです。

「あなたがたに新しい掟を与える。互いに愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。互いに愛し合うならば、それによってあなたがたがわたしの弟子であることを、皆が知るようになる。」ヨハネによる福音書第13章34節～35節のみ言葉から、相愛の理念が導きだされました。

互いに愛し合うなかで、子どもをまんやかに育ちあう保育を祈りながら求めています。

光の子らしく歩んでほしいと祈りながら実践

キリスト教保育の実践のために「明るい、元気な、正しい」子ども像を目指し、子どもたちと保護者のために祈れる姿勢を大切に保育に謙虚にあたっています。

「明るい子ども」は、表現が豊かな子どもです。明るい笑顔がいつも出せる保育園であるためには、わがママが言える保育園でなければなりません。わがママを存分言え、それをしっかりと受け止める保育姿勢をもって取り組みます。表現が豊かとは、喜怒哀楽を素直に出せることと信じます。

「元気な子ども」は、遊びが十分に保障されてこそ元気になれます。天気が良い日は戸外で思いっきり遊べる時間を保障し、また散歩を日課に取り組み、体力の増強も回り心身ともに元気な子どもを目指します。そして、何よりも、元気でいたいと自ら思う子どもであって欲しいと願います。

「正しい子ども」は、正しさは時として人を裁く事につながりかねない点をしっかりと念頭におき、保育にあたります。正しさは「許し」から始まり、そして「許し」続ける事で完成していく事を忘れずに、常に子どもが自ら正しさを身につけていく過程を待つ姿勢を大切にします。

おわりに

バプテスト福祉デーを迎え、共に生きることが今ほど問われている時はありません。キリストの平和を宣べ伝える者として、教会から平和を発信していく語り合いの時、行動を起こす契機となりますことを願っています。

共に生きる

2022年11月13日(日)

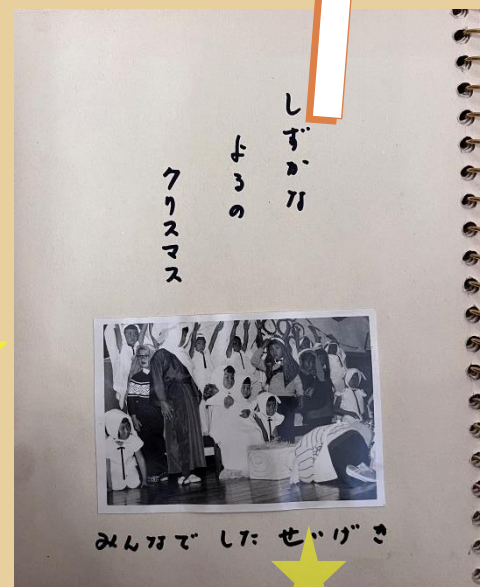
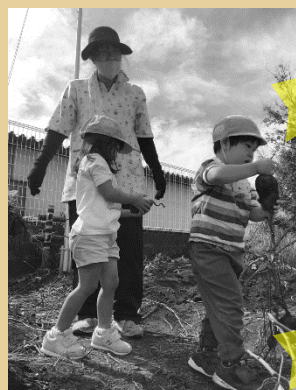
日本バプテスト社会福祉事業
団体連絡協議会



- *バプテストめぐみ会
- *しんもり福祉会
- *バプテスト心身障害児(者)を守る会

- *キリスト者奉仕会
- *福岡白百合会
- *相愛会

バプテスト福祉デー



しずか
よしの
クリスマス



みんなでして せいげき